



韓国で口蹄疫の発生が続いています！

今一度、本病の発生予防を徹底しましょう！

韓国では、現在、広範囲の地域で口蹄疫（O型及びA型）の発生が続いて確認されており、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況にあります。

2017年2月14日現在

過去の日本での発生をみると
まず韓国で発生しています！



2000年 → 2000年

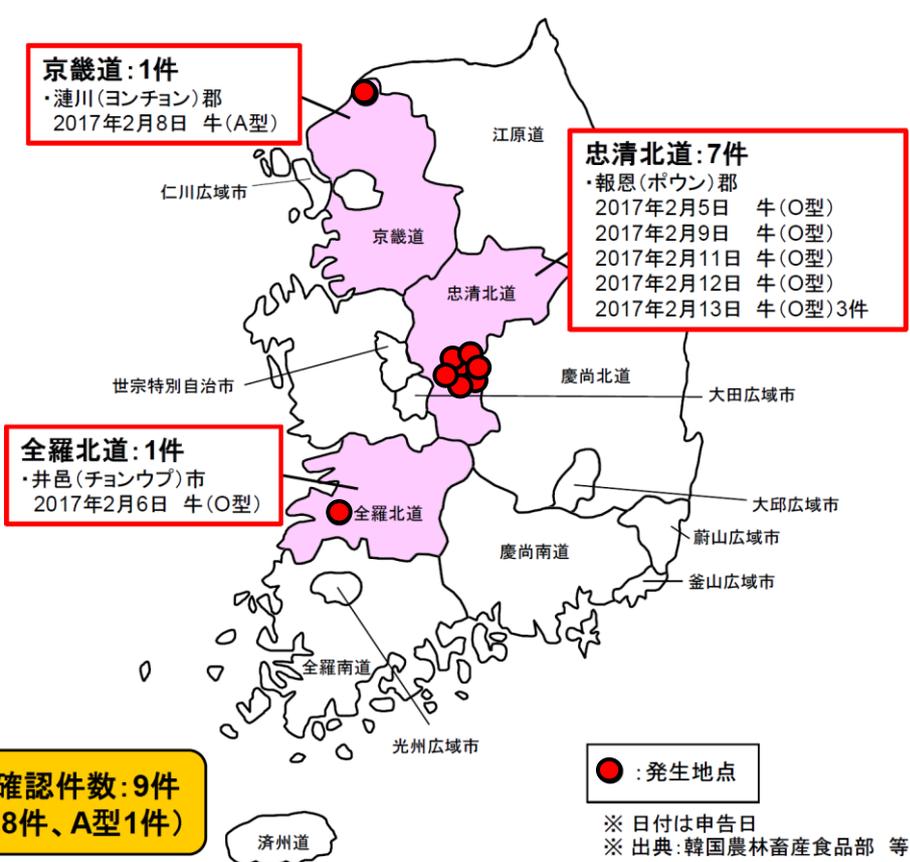
2002年

2010年 → 2010年
2011年

2014年 → 現在
現在

侵入する可能性
は非常に高い!!

韓国における口蹄疫の発生状況 (2017年2月以降)



《消毒薬の注意点》

- ★ 逆性石けん(パコマやアストップ)は口蹄疫の消毒薬としては不適。(但しクリアキルは効果あり)
- ★ 口蹄疫に効果がある消毒薬は、塩素系消毒薬(ビルコンS、クレンテ、スミクロール等)やヨウ素系消毒薬、炭酸ソーダなどです。
- ★ 消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！
例) ビルコンの効果が無くなってしまいうため、アルカリ性である消石灰を踏んだ長靴でビルコンなどの酸性消毒液に入ってははいけません。

発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場に持ち込む**物品**や**出入りする車両の消毒**を徹底しましょう。
- 農場や畜舎の出入口に**踏込消毒槽等**を設置することにより、出入りする人の**靴底の消毒**を徹底しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これら国の**農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まない**ようにしましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察**を行いましょう。



疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**よだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水ぶくれ**ができるのが主な特徴です。

～牛の症状～



～豚の症状～



写真：宮崎県提供



毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に**連絡**しましょう。

異状発見時は、直ちに青森家畜保健衛生所にご連絡ください
電話：017-764-1744 （夜間・休日：090-2274-0474）